



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 日鍛バルブ株式会社  
 コード番号 6493 URL <https://www.niv.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 金原 利道  
 (氏名) 李 太煥  
 TEL 0463-82-1311

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	33,851	13.7	2,192	3.6	2,371	0.7	529	39.3
29年3月期第3四半期	29,766	5.5	2,273	3.8	2,355	0.7	872	1.5

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,315百万円 ( %) 29年3月期第3四半期 164百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	18.33	
29年3月期第3四半期	30.21	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	60,387	32,739	41.4
29年3月期	55,835	31,640	42.8

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 24,975百万円 29年3月期 23,897百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		6.00		6.00	12.00
30年3月期		6.00			
30年3月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,500	5.4	2,400	31.1	2,800	22.6	850	39.9	29.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	28,978,860 株	29年3月期	28,978,860 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	93,637 株	29年3月期	93,428 株
----------	----------	--------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	28,885,325 株	29年3月期3Q	28,885,765 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、生産・設備投資の増加や企業収益・雇用情勢の改善など景気は緩やかな回復基調が続きました。先行きについても引き続き回復していくことが期待されますが、海外経済の不確実性や為替・株価の変動影響に留意する必要があります。一方、世界経済は、中国やその他新興国の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響などに留意する必要があるものの、全体としては緩やかに回復しています。

また、当社グループが関連する自動車業界は、国内市場は景気回復に伴う販売好調を背景に底堅く推移しました。海外市場は中国・欧州の販売好調などを背景に概ね堅調な推移となりました。

このような状況のもと、当社グループは、「基盤強化」、「永続的発展」、「企業風土改革」を柱とする経営方針を掲げ、国内外で競争力を高める施策を積極的に展開してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、国内事業は、中空エンジンバルブの量産拡大、自動車用精密鍛造歯車・バルブリフターの販売好調、P B Wの量産開始等により前年同期に比べ大幅な増収となりました。海外事業は、北米・台湾では受注が減少したものの、中国・タイ・ベトナムにおける生産拡大や為替換算の円安効果等により海外事業全体としては前年同期に比べ増収となりました。

この結果、売上高は、338億51百万円（前年同期比13.7%増）となりました。

損益面につきましては、タイ・ベトナムにおけるコスト削減や為替換算の円安効果等の増益要因はあったものの、国内事業および中国におけるコスト増加、北米・台湾における受注減少、P B W事業立ち上げコスト発生等の影響により、営業利益は、21億92百万円（前年同期比3.6%減）となりました。経常利益は、支払利息・為替差損の計上額の減少等により、23億71百万円（前年同期比0.7%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益の計上額の減少や法人税等の計上額の増加等により、5億29百万円（前年同期比39.3%減）となりました。

報告セグメントの種類別の業績は次のとおりであります。

## &lt;小型エンジンバルブ&gt;

国内事業は、中空エンジンバルブの量産拡大や北米・中国向け製品の販売好調等により四輪車用エンジンバルブが前年同期に比べ大幅な増収となりました。二輪車用エンジンバルブについても新規量産の立ち上がり等により増収となりました。海外事業は、アジア地域では、台湾における受注減少等の減収要因はあったものの、中国・タイ・ベトナムにおける生産拡大や為替換算の円安効果等によりアジア地域全体としては前年同期に比べ増収となりました。北米地域では、為替換算の円安効果はあったものの一部製品の生産拠点移管等の影響により減収となりました。欧州地域では、既存製品の受注増加や為替換算の円安効果等により増収となりました。

汎用エンジンバルブは、海外向け製品の増加により増収となりました。

当セグメントの損益面につきましては、国内当該事業および中国におけるコスト増加、台湾における受注減少等の減益要因はあったものの、タイ・ベトナムにおける生産性改善に伴うコスト削減等の効果や為替換算の円安効果等により前年同期に比べ増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、267億25百万円（前年同期比12.6%増）、セグメント利益（営業利益）は、22億53百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

#### <船用部品>

船用関連製品につきましては、国内向け組付部品・補給部品の販売は低調であったものの、海外向け製品の受注が拡販により増加し、前年同期に比べ増収となりました。

当セグメントの損益面につきましては、新商品開発に伴うコスト増加により減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、25億10百万円（前年同期比1.8%増）、セグメント利益（営業利益）は、80百万円（前年同期比13.8%減）となりました。

#### <可変動弁・歯車・PBW>

可変動弁につきましては、量産終了に伴い、前年同期に比べ減収となりました。

精密鍛造歯車につきましては、産業機械用製品は横ばいとなりましたが、北米・中国向け自動車用製品の販売好調により、前年同期に比べ大幅な増収となりました。

PBWにつきましては、当該製品の本格的な量産を開始したことにより増収となりました。

当セグメントの損益面につきましては、精密鍛造歯車事業におけるコスト増加、PBW事業立ち上げコスト発生等の影響により減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、29億62百万円（前年同期比33.8%増）、セグメント損失（営業損失）は、2億36百万円（前年同期はセグメント利益（営業利益）0百万円）となりました。

#### <その他>

バルブリフターにつきましては、新機種の立ち上がりや中国向け製品の販売好調により、前年同期に比べ大幅な増収となりました。

工作機械につきましては、グループ内部での取引が減少し減収となりました。

ロイヤルティーにつきましては、グループ内部での取引が増加し増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、26億82百万円（前年同期比2.8%増）、セグメント損失（営業損失）は、5百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）14百万円）となりました。

なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、603億87百万円となり、前連結会計年度末と比較して45億52百万円の増加となりました。

資産の部の流動資産は、235億33百万円となり、前連結会計年度末と比較して22億38百万円の増加となりました。この主な要因は現金及び預金が10億10百万円、受取手形及び売掛金が8億94百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、368億53百万円となり、前連結会計年度末と比較して23億14百万円の増加となりました。この主な要因は機械装置及び運搬具（純額）が14億58百万円、投資有価証券が12億51百万円増加したことなどによるものであります。

負債の部の流動負債は、131億42百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億65百万円の増加となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が4億96百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、145億5百万円となり、前連結会計年度末と比較して22億87百万円の増加となりました。この主な要因は長期借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産の部では、327億39百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億99百万円の増加となりました。この主な要因は、利益剰余金が増加したこと、その他有価証券評価差額金が増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月12日公表の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては本日(平成30年1月31日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,455,295	7,465,404
受取手形及び売掛金	7,861,368	8,756,238
商品及び製品	2,247,969	2,328,699
仕掛品	1,385,427	1,456,567
原材料及び貯蔵品	2,530,424	2,527,775
繰延税金資産	239,595	240,226
その他	575,753	758,927
流動資産合計	21,295,834	23,533,839
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,259,555	6,120,819
機械装置及び運搬具(純額)	14,554,539	16,012,789
土地	1,269,189	1,134,589
建設仮勘定	2,207,036	2,103,780
その他(純額)	627,593	708,433
有形固定資産合計	24,917,915	26,080,411
無形固定資産		
投資その他の資産	499,733	445,212
投資有価証券	8,257,422	9,509,143
出資金	940	930
長期貸付金	51,538	54,728
繰延税金資産	444,552	422,685
その他	382,293	346,095
貸倒引当金	△14,800	△5,219
投資その他の資産合計	9,121,946	10,328,363
固定資産合計	34,539,595	36,853,988
資産合計	55,835,429	60,387,827

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,537,211	4,033,579
短期借入金	3,096,970	3,347,018
1年内償還予定の社債	140,000	140,000
未払法人税等	359,393	263,772
繰延税金負債	757,241	815,426
賞与引当金	346,524	93,251
役員賞与引当金	53,300	—
その他	3,686,666	4,449,599
流動負債合計	11,977,308	13,142,648
固定負債		
社債	440,000	370,000
長期未払金	11,100	3,100
長期借入金	5,820,525	7,732,443
繰延税金負債	1,901,845	2,217,587
退職給付に係る負債	3,760,649	3,866,291
その他	283,851	316,234
固定負債合計	12,217,972	14,505,657
負債合計	24,195,280	27,648,306
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,530,543	4,530,543
資本剰余金	4,500,424	4,494,518
利益剰余金	12,880,502	13,058,359
自己株式	△46,226	△46,311
株主資本合計	21,865,243	22,037,110
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,628,140	4,370,717
繰延ヘッジ損益	△3,635	—
為替換算調整勘定	△890,001	△810,222
退職給付に係る調整累計額	△702,608	△622,514
その他の包括利益累計額合計	2,031,896	2,937,980
非支配株主持分	7,743,009	7,764,430
純資産合計	31,640,149	32,739,521
負債純資産合計	55,835,429	60,387,827

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	29,766,309	33,851,031
売上原価	25,031,987	28,689,106
売上総利益	4,734,322	5,161,925
販売費及び一般管理費	2,460,976	2,969,432
営業利益	2,273,345	2,192,492
営業外収益		
受取利息	21,508	26,843
受取配当金	161,095	162,439
持分法による投資利益	135,123	151,275
雑収入	71,214	72,751
営業外収益合計	388,942	413,310
営業外費用		
支払利息	141,357	113,532
為替差損	147,425	96,833
雑損失	17,784	24,239
営業外費用合計	306,567	234,605
経常利益	2,355,720	2,371,197
特別利益		
固定資産売却益	15,045	6,282
投資有価証券売却益	102,737	—
特別利益合計	117,783	6,282
特別損失		
固定資産売却損	593	224
固定資産除却損	34,834	35,980
減損損失	21,423	77,964
投資有価証券売却損	264	170,193
ゴルフ会員権売却損	—	929
過年度決算訂正関連費用	217,561	—
特別損失合計	274,677	285,292
税金等調整前四半期純利益	2,198,826	2,092,187
法人税等	418,189	667,803
四半期純利益	1,780,637	1,424,383
非支配株主に帰属する四半期純利益	907,929	895,002
親会社株主に帰属する四半期純利益	872,707	529,380

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,780,637	1,424,383
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	387,842	742,594
繰延ヘッジ損益	25,079	5,425
為替換算調整勘定	△2,255,559	40,343
退職給付に係る調整額	82,839	77,273
持分法適用会社に対する持分相当額	△185,159	25,116
その他の包括利益合計	△1,944,956	890,754
四半期包括利益	△164,318	2,315,137
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	69,223	1,435,464
非支配株主に係る四半期包括利益	△233,542	879,672

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(法人税等の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	小型 エンジン バルブ	船用部品	可変動弁・ 歯車	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	23,672,614	2,466,179	2,213,485	28,352,278	1,414,031	29,766,309	—	29,766,309
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	66,940	—	—	66,940	1,194,598	1,261,538	△1,261,538	—
計	23,739,554	2,466,179	2,213,485	28,419,218	2,608,629	31,027,848	△1,261,538	29,766,309
セグメント利益 又は損失(△)	2,154,156	93,161	111	2,247,429	△14,695	2,232,733	40,612	2,273,345

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バルブリフター、工作機械製造販売、高圧洗浄、シリンダーヘッド修理、ロイヤルティ、農作物等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額40,612千円は、セグメント間取引消去159,214千円、各報告セグメントに配分されない全社費用△118,602千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	小型 エンジン バルブ	船用部品	可変動弁・ 歯車・ P B W	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	26,725,157	2,510,818	2,962,479	32,198,455	1,652,575	33,851,031	—	33,851,031
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	1,029,491	1,029,491	△1,029,491	—
計	26,725,157	2,510,818	2,962,479	32,198,455	2,682,067	34,880,522	△1,029,491	33,851,031
セグメント利益 又は損失 (△)	2,253,369	80,293	△236,342	2,097,320	△5,046	2,092,274	100,218	2,192,492

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バルブリフター、工作機械製造販売、高圧洗浄、ロイヤルティ、農作物等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額 100,218 千円は、セグメント間取引消去 213,684 千円、各報告セグメントに配分されない全社費用△113,466 千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。